



みなさんは、日々の暮らしの中にご近所付き合いや気の合う仲間がいますか？  
5年後、10年後に向けて「住みやすい、住んでいてよかった。」と思える、人と人との「つながりのある地域」をめざし、「地域のお宝」として、ご紹介していきます。

取材先

綿打地区

古郡 きよさん

年齢を重ねても 住み慣れた我が家で 自分らしく暮らす



100歳のお誕生日 お祝い膳

百寿

ふるごおり

古郡 きよさんは令和4年12月27日に100歳のお誕生日を迎えました。

自宅で長女の関口美喜代さんに見守られながら、お元気に過ごしています。

ホームヘルパー、訪問リハビリの療法士、ケアマネジャー、民生委員など、安心して在宅生活を送るために、たくさんの人がきよさんの応援団となっています。

若い頃は畑仕事に汗を流す日々だったきよさん。旦那さんが会社勤めをしていたので、1丁ある畑をきよさんが管理し、たくさんの野菜を作りました。

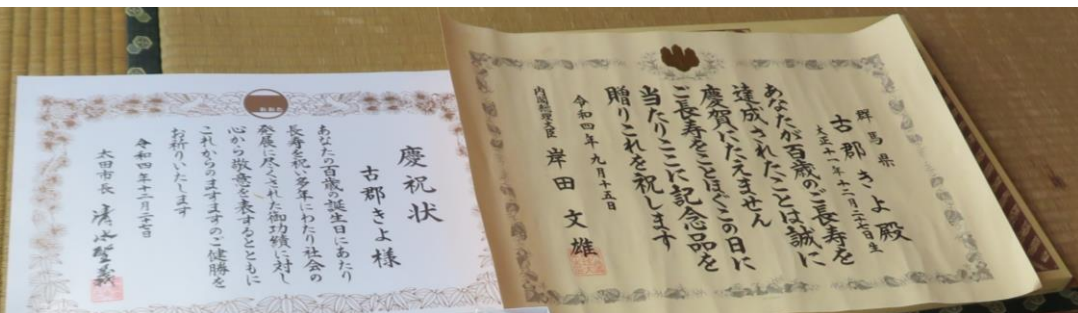
以前はお茶飲み友達も多く、人の出入りが絶えなかったきよさんのお宅ですが、時間の経過とともに付き合いは自然に消滅してしまいました。

コロナ禍で外出する機会も無くなりましたが、美喜代さんやホームヘルパーと会話したり好きなテレビ番組を観ながら、ゆっくりとした時間を楽しんで在宅生活を送っています。

きよさんの元気の秘訣は好き嫌いなく食べること。美喜代さんが1日の摂取カロリーに気を付けながら食事の準備をしています。

お肉が好物で、ひれかつ弁当をペロッと食べてしまうそうです。

# 地域のお宝発見 ～太田市生活支援体制整備事業～



100歳の誕生日を迎え、内閣総理大臣と太田市長から表彰を受けました。コロナ禍ということもあり、美喜代さんが代理で賞状をいただけてきました。太田市からは花も贈られ、きよさんは「お花が大好きなの。とてもきれい。嬉しい」と笑顔で話していました。



長女の関口美喜代さんときよさん

美喜代さんにお話を伺うと「母は100歳になりましたが、介護はしていません。見守りをして、本人がどうしても出来ない所に手を貸すことはあります。

年齢と共に徐々に動きがゆっくりになり、動作に時間が掛かるようになりました。何でも手を出すことは簡単。手伝った方が早く終わるし、お互いに楽だけれど、それでは本人の為になりません。母が現在の機能を長く維持できるよう励ましながら見守っています」と話してくれました。

## ☆チェックポイント☆

「いつまでも自宅で暮らしたい」というきよさんの願いを叶えるために、美喜代さんは、いつも温かく見守っています。そんな美喜代さんの心遣いが、きよさんの元気の源になっています。そして自分のペースでお元気に在宅生活を送るきよさんの姿も、美喜代さんの元気の源になっています。

## お宝情報を募集中!

「私の近所でこんな取り組みをしている」「こんな工夫をして気にかけている」など、あなたの地域のつながりを教えてください。情報をお持ちの方は下記お問い合わせまでお願いします!

過去のつながる通信をチェック⇒



詳しくはこちら

お問い合わせ

太田市社会福祉協議会 地域福祉係

〒373-0817 群馬県太田市飯塚町1549

TEL 0276-46-6208 FAX 0276-46-6229